

まちの日記帳



今年は614人の長寿をお祝い

9/25

平成20年度積丹町敬老会（実行委員会主催。町自治会等連合会、老人クラブ連合会、女性団体連絡協議会などで組織）が町総合文化センターで行われ、75歳以上の方々614人の皆さんの対象者の中、111人が出席されました。

式典では今年88歳の米寿を迎えられた26人のうち、出席された7人の方々に松井町長より祝品が手渡され、長寿の節目を祝いました。その後の祝宴では、婦人会の皆さん手作りのお汁粉などを堪能しながら、参加者のカラオケなどで楽しいひとときを過ごされていました。



陶芸づくりにチャレンジ

9/26

第1回町民文化教室（町教育委員会主催）が町総合文化センターで行われました。

芸術の秋にちなみ「陶芸づくりに挑戦したのは町民8人と少なめの参加者となりました。荻野正氏（野塚町）を講師に、参加者は小鉢やカップ、皿など思い思いの形を頭に描きながら粘土をこね作品づくりに取り組んでいました。

なお、完成した作品は、町文化祭へ展示される予定となっています。



あなたの足腰は大丈夫？

9/27

介護予防教室「足腰鍛えてイキイキ生活」（町地域包括支援センター主催）が町総合文化センターで行われました。

札幌医科大学保健医療学部基礎理学療法講座の小島悟氏を講師に、運動の必要性和簡単で便利な運動について実践を交えながら学びました。

町民13人や関係者合計28人が参加し、足腰を鍛える運動方法などについて説明を受けるとともに、手足を使った運動を実践し参加者は運動の大切さを改めて感じていました。



漁業を身近に感じて

9/28

子どもたちに漁業をより身近に感じてもらうと東しやこたん漁業協同組合積丹支所青年部（角田拓也部長ほか部員25人）は水産教室を行い、町内の児童16人が参加しました。

この日はあいにくの時化模様であったため、漁船に乗船して海上での刺し網巻きあげ体験が中止となりましたが、同部員が巻きあげ網にかかった魚のはずし方などを教わりました。

また、北海道立水産孵化場の河村博副場長による「サクラマスが育む生命のつながり」と題して、サクラマスが生態系へ果たす役割等について講演も行われ、児童は興味深げに聞き入っていました。



愛情たつぷりで 心もあつたか

9/30

余別婦人会（角田陽子会長
会員16人）が町内のお年寄りへ
お弁当サービスを行いました。

会員8人が朝早くから調理開
始、家庭菜園で育てた旬の味覚
を持ち寄り、この日は舞茸や枝
豆、ピーマンなど野菜たつぷり
の天ぷら、カボチャの煮付け、
焼き鮭などを献立。余別町の28
人分を作りました。

このサービスは15年以上にわ
たり続けており毎年5月と9月
の2回実施。会員の皆さんは激
しい豪雨の中を「元氣かい。こ
れから寒くなるから風邪には気
をつけてくださいね。」と声をか
け体の様子を気遣いながら届け
ていました。



ビジネスチャン スをサポート

10/2

北海道経済産業局が主催し、
今年道内9か所で開催される
「E・O（イージー・オーダー）
説明＆相談会」が町総合文化セ
ンターで行われました。

積丹観光協会（佐藤勝次会長）
が地域資源を活用し、地域の活
性化に向けた取り組みを進めよ
うと同局に開催を要望。町内外
から17人が参加し「地域資源の
活用と地域ブランドの保護」と
題して同局の担当者から地域の
特産品開発など道内での活用事
例の紹介や地域ブランドを守る
ことの重要性などについて説明
を受け、参加者は熱心に聞き入
っていました。



気分はすつかり カメラマン

10/4

第4回目となる少年教室（町
教育委員会主催）が町総合文化
センターなどで行われました。

今回は、町写真愛好会（井端
順司会長）の協力のもと写真教
室が行われました。

町内の児童生徒19人が参加し
た教室では、カメラの扱い方や
撮り方などの説明を受けた後、
黄金岬や美国漁港で実際に写真
撮影を行いました。また現像し
た写真は、講師の講評を受けた
り、オリジナルの創作写真を作
ったりと参加者は楽しそうに取
り組んでいました。



ナイスショット に気分爽快

10/13

第24回町内ゲートボール大会
（町教育委員会主催）が町ふれあ
いゲートボール場で行われまし
た。

大会には、町内5チーム29人
が参加し、熱戦が繰り広げられ
ました。なお、試合結果につい
ては次のとおりです。

【優勝】美国愛好会

（代表 熊本和子さん）

【第2位】入舸愛好会

（代表 川井順應さん）

【第3位】野塚愛好会

（代表 白木力子さん）

